



2026年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】
赤坂 真二
(あかさか しんじ)
akasaka@juen.ac.jp

元小学校教師。学級経営、協同的な学びを中心にした教科指導、生徒指導、教育相談。研究テーマは、学級経営、授業・学級経営のユニバーサルデザイン化、教師の指導力向上、学級経営を基盤としたカリキュラム・マネジメント及び学校経営。学校心理士・日本学級経営学会共同代表理事・日本授業UD学会理事、修士（教育学）。



【教授】
阿部 隆幸
(あべ たかゆき)
abetaka@juen.ac.jp

元小学校教師。「授業づくり」と「学級づくり」、そしてその双方の関係性に興味をもち実践研究を重ねている。今後の社会を想定し学習者目線を大切にしたい研究を進めたい。日本学級経営学会共同代表理事。NPO法人授業づくりネットワーク副代表。研究分野は学級経営、臨床教科教育学、社会科教育。修士（教育学）。



【教授】
大島 崇行
(おおしま たかゆき)
oshima@juen.ac.jp

元小学校・中学校教師。子どもたちの多様な学びの姿を見取り授業を設計する臨床研究を通し、日々の授業の充実を目指している。協働的な授業の設計・ICT教育・社会科に関する研究・授業リフレクション・観とり・教師教育。臨床教科教育学会理事。NPO法人授業づくりネットワーク理事。博士課程研究指導担当教授。博士（学校教育学）。



【教授】
片桐 史裕
(かたぎり ふみひろ)
katagiri@juen.ac.jp

元高等学校教師。国語科教育、主に高校での学級経営、アクティブ・ラーニングの発生する授業づくり、学習者のつまづき発生過程、教科の見方・考え方が身につく授業デザインなどが専門。授業への音声言語表現活動（群読、ディベート、スピーチなど）の導入、文章内容の映像化による学習効果などを研究。修士（教育学）。



【教授】※1
桐生 徹
(きりゅう とおる)
kiryu@juen.ac.jp

元中学校教師・指導主事、元本学附属中学校長を経験した。臨床教科教育学や教師教育学として、子どもの学びから授業をデザインするために、真摯に授業を観とる必要があります。そのための研究と教員研修を企画し実施しています。現在、臨床教科教育学会会長、博士課程講義担当教授です。博士（学校教育学）。



【教授】
佐藤 多佳子
(さとう たかこ)
takako@juen.ac.jp

元小学校教師。国語科の学習デザイン研究。①教材の本質を穿つ分析・研究②学習者に寄り添う明確な目標をもつ学習活動③実際の学習活動と評価。キーワードは、文学の「読みの交流」、論理・思考・ことばと言語活動。発話分析等による学習者の学びのプロセスを重視した質的研究。博士課程講義担当。博士（学校教育学）。



【教授】※2
藤井 和子
(ふじい かずこ)
fkazuoka@juen.ac.jp

元特別支援学校（知的障害）教師、言語聴覚士。通常の学級に在籍する言語・コミュニケーション障害のある子どもの自立活動の指導に関する研究を行う。特に、通級担当教師・特別支援学級教師と通常学級担任教師との連携による個別の指導計画作成と授業づくり・授業分析について、教師の職能成長の観点から研究を行う。修士（教育学）。



【教授】
水落 芳明
(みずおち よしあき)
mizuochi@juen.ac.jp

元小学校教師・中学校教師（1988年～2008年）。学術研究に基づく授業づくりを研究。文部科学省有識者会議委員（2016年～2017年）。中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会）（2019年～2021年）。博士課程研究指導担当教授。博士（学校教育学）。



【准教授】
河野 麻沙美
(かわの まさみ)
masami@juen.ac.jp

専門分野：教育方法学、授業研究、学習科学。授業分析と学校の「授業研究」の国際比較研究等を遂行。国際的な教育課程改革の動向や「総合的な学習の時間」を核とした探究の授業・カリキュラムを政策から実践レベルで研究。著書：単著『算数授業における協同的な学習過程の検討』他。博士（教育学）。



【准教授】
北川 沙織
(きたがわ さおり)
ksaori@juen.ac.jp

元小学校教諭・教頭。学級経営の基盤となる道徳科での役割演技の活用を中心に、通常学級における障害理解教育のモデル化、家庭や地域社会との協働による価値観の形成など、児童が価値を主体的に捉え、学びを深める授業づくりの実践的研究等を行っている。教職修士（専門職）。



【准教授】
関原 真紀
(せきはら まき)
maki@juen.ac.jp

元小学校教師（発達障害通級指導教室担当）・指導主事・特別支援学校教頭。通常の学級における教育の支援を要する児童生徒の理解と指導・支援、通級による指導、多様性に応じた授業づくり・学級づくり、校内体制の構築と関係機関との連携、応用行動分析学に基づくポジティブな行動支援（SWPBS、CWPBS）。学士（教育学）。



【講師】
坂口 嘉菜
(さかくち かな)
kana@juen.ac.jp

元特別支援学校（聴覚障害）教師。聴覚障害のある子どもの言語発達、読解に関する研究。思考力に着目した授業分析を通じた実践的研究・教育。通常級に在籍する難聴の子どもに対する支援や授業づくり、各地域の難聴児支援に関する研究も行う。修士（行動科学）。

